

<https://global.ynu.ac.jp/wordpress/wp-admin/post.php?post=660&action=edit> 第 10 回国際セミナーが開催されました。

日程：2016 年 9 月 25 日 – 28 日

主催：大連理工大学



PUL2016 記念写真(大連理工大学提供)

第 10 回国際みなとまち大学リーグ国際セミナー “Coordinated Development for Port, Transportation and City”が中国・大連理工大学（オーガナイザー：趙勝川国際交流所長）で開催されました。

国際みなとまち大学リーグは本学の提唱により 2006 年に発足しました。世界各国の港湾都市にある大学間の交流ネットワークを構築し、港に関わる文化（歴史、交易、産業、海洋研究、人々の

くらしなど)を共に幅広く考えるとともに、大学だけでなく、市民も含めて交流していくことを目指しています。現在、12カ国15大学が加盟しています。

1日目は、国際みなとまち大学リーグ(PUL)加盟大学の参加者による研究発表が行われました。開会に先立ち、大連理工大学畢明樹(Mingshu Bi)学長補佐から歓迎の挨拶がありました。つづいて、横浜国立大学中村文彦副学長・理事(国際・地域・広報担当)から開会の挨拶と畢学長補佐へ記念品が贈呈されました。

セミナーの1日目には8大学から13名の参加者がプレゼンテーションを行いました。会場からは多くの質問があり、活発な議論が行われました。

2日目は、午前中に大連理工大学の海岸・近海工学国家重点実験室と海洋工学研究所を訪れ、実験水槽などの施設を見学しました。午後には海にまたがる全長6.8kmの架け橋・大連星海湾大橋、大連屈指の景勝地である老虎灘、星海広場などを視察しました。今回は、大連理工大学と横浜国立大学の学生がプログラムに参加し、これまで研究者交流が中心であったPULのネットワークを学生交流へと発展する良い機会となりました。第11回の国際みなとまち大学リーグ国際セミナーは韓国・仁川大学校で開催予定です。



近海工学国家集中実験

会場の様子

実験水槽

室



老虎灘にて記念撮影

10th PUL Record of Discussion